

---

## 「てんかんを持つ人々の生活の質、うつ、自尊心、スティグマの実態調査と日土比較研究」に関するお知らせ

---

このたび、当院にてんかんで通院中の患者さん、およびインテージ株式会社へ登録されていたてんかん患者さん方へ行わせていただいたアンケート結果を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、アンケート回答内容やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2021年10月15日～2022年9月30日、2022年10月6日～2023年5月31日の期間に、「てんかんに関する知識・スティグマの実態と支援ニーズに関する日独比較調査研究」への参加同意をいただいて自記式アンケート調査を実施した患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

てんかんは一般的な神経疾患ですが、その歴史や否定的意味合いが影響し、偏見(スティグマ)が根深く残っています。スティグマは、社会や文化に影響されることが明らかとなっていますが、てんかんにおいて異なる文化間における比較研究はまだほとんど行われていません。本研究の目的は、本邦におけるてんかん患者さんの知識・スティグマ、関連する精神症状などを把握し、トルコとの比較検討を行い、生活の質やスティグマに関連する要素を明らかにすることです。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2026年03月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

病院長の許可後

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる情報について

#### 1. 情報の内容

「てんかんに関する知識・スティグマの実態と支援ニーズに関する日独比較調査研究」にてご回答いただいたアンケート結果。この研究で得られた患者さんの情報は、研究責任者である倉持泉が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。カルテ番号、イニシャル等の個人を特定しうる情報は研究には使いません。

## 2. 情報の取得方法

「てんかんに関する知識・スティグマの実態と支援ニーズに関する日独比較調査研究」にてご回答いただいたアンケート結果を記載した電子ファイルを用います。

## 3. 情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者 倉持泉 神経精神科・講師（医師）  
研究実施者 水野公仁 神経精神科・助教  
研究実施者 岩山孝幸 神経精神科・非常勤心理師  
研究実施者 小林清香 神経精神科・准教授（心理師）  
研究実施者 吉益晴夫 神経精神科・教授（医師）

## 4. 情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

## 5. 情報の提供方法等について

他機関への情報提供の予定はありません。

### お問い合わせについて

ご自身のアンケート回答結果やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 神経精神科 倉持泉

住所：〒350 8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-36 - 5（月水金 8：30～15：30）

メールアドレス：kizumi “AT” saitama-med.ac.jp（“AT”を@に置き換えてください）

○研究課題名：

「てんかんを持つ人々の生活の質、うつ、自尊心、スティグマの実態調査と日土比較研究」

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 神経精神科 倉持泉